



8月3日(木)から2日間、愛知県で「第12回若年者ものづくり競技大会」が開催され、入賞した川内職業能力開発短期大学校生3人が、9月20日(水)に市役所を訪れ、受賞の報告を行いました。

報告を受けた岩切市長は、「全国大会入賞は大変素晴らしい快挙であり、このような優秀な人材が将来本市で働いてくれることを期待します」と、3人の栄誉を称えました。

【写真説明】写真左より宇都翔太朗さん、市長、中川雄貴さん、古園海成さん

全国大会入賞を報告

川内職業能力開発短期大学校生が



9月15日(金)、鹿島公民館で交通死亡事故ゼロ25000日達成記念式典が行われました。これは、交通死亡事故ゼロ日数が、鹿島村となった昭和24年4月1日から起算し、本年9月10日(日)で25000日を達成したことを記念して開催されたものです。

当日は、台風接近の影響もあって式典のみの開催となりましたが、町内外から約100人が参加し、交通安全祈願として奉納された鹿島の伝統芸能「タルナイ」や餅投げなどで大いに盛り上がりました。

達成記念式典開催!

交通死亡事故ゼロ25000日



今年の田植え時期から、水引地区に、天気の良いときだけ出現する「かかし」がお目見えしました。

これは、草道上自治会の「元気サロン」の一環で、別府俊明氏ら約20人の会員が手掛けたもの。来年の大河ドラマにちなんだものを含め20体を制作し、稲刈り時期まで展示されます。あまりにもリアルな出来栄に、声を掛ける人も少なくないのだとか…。

「西郷どんかかし」

晴れたら出現

薩摩川内

広報さつませんだい 2017 No.313

広

報

お知らせ版

9月15日(金)、市内最高齢者となる江口マツヨさんを市長代理の職員が訪問し、敬老祝金などを贈呈しました。江口さんは里町内在住で、現在106歳。古くから地域に伝わる内侍舞の指導を80年以上にわたって行うなど、伝統行事の継承に尽力されました。現在は、散歩や歌を楽しみながら元気に過ごされています。



市内最高齢者表彰

これからもお元気で



9月18日(月)、九州各地から21団体・約250人が集まり、第22回九州ハンドベルフェスティバルが行われました。同フェスティバルは、平成7年から毎年1回、九州各地で開催されており、本市では初の開催となりました。本市からも3団体が出場して、クラシックなどを演奏し、来場者はその美しい音色に聴き入っていました。



ハンドベルの音色が美しく響きました